



11月 土居隣保館カレンダー



日	月	火	水	木	金	土
1	2	3 文化の日	4 四国中央市学校 人権・同和教育 研究大会	5 入道・アロビック 10:00～ 愛媛県隣保館 職員研修会	6	7
8	9 北小3年生 隣保館学習	10 3B体操教室 10:00～ 県人権・同和教 育研究大会	11	12 入道・アロビック 10:00～	13	14
15 市議会議員 選挙投票日	16	17 東予地区人権・ 同和教育研究 協議会	18	19 入道・アロビック 10:00～	20	21 土曜講座 (ウェルピア伊予)
22 人権のつどい (土居文化会館)	23 勤労感謝の日	24 3B体操教室 10:00～	25 職業相談 10:00～	26	27 手芸教室 10:00～	28
29	30 長津小3年生 隣保館学習	12/1 関川小3年生 隣保館学習	2	3	4	5

隣保館講座・募集のお知らせ

手芸教室

クリスマスリースを作ろう♪



～100均アイテムで、手軽におしゃれな手作りリース～

日時 11月27日(金) 10時00分～11時30分

場所 土居隣保館 会議室

費用 500円程度 (材料費実費)

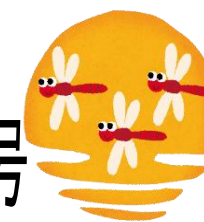
※受講希望の方は土居隣保館までお申し込みください。(電話・FAX可)

申し込み締切 11月13日(金)まで



土居隣保館便り

11月号



発行:土居隣保館 〒799-0703 土居町藤原 5-400-3 TEL/FAX 28-6356

小富士小学校3年生15名が隣保館学習に来てくれました



例年一学期に行なっていた小学3年生隣保館学習は、新型コロナウイルス感染症対策のため、二学期に延期されていまして、10月12日の小富士小学校が最初の隣保館訪問でしたが、当日の朝、スローエアロビック教室に参加している受講生の方から、「子どもたちにどうぞ」と金木犀の花が届けられました。

先日8日のスローエアロビック教室の時に受講生の方が隣保館に飾ってくださいと金木犀を持ってきてくださいました。館内にとってもいい香りが漂い、ふっと本館職員が、12日に隣保館にくる小富士小学校の子どもたちにもこの香りが共有できたらいいなと感じたそうです。そこで、いつまで持つか尋ねたということです。12日までは持ちそうもないとのことで諦めていたのですが、当日の朝、突然電話があり、急遽持ってきてくださることになったということです。いただいた金木犀は一枝一枝丁寧に紙で包装しており、香りを通して季節を直接感じ取れる様にとの思いが伝わってきました。朝早くから子どもたちのために心を込めて準備してくれている姿が目につかび、預かった私たちも温かい気持ちになりました。

スローエアロビック教室を通して隣保館と地域がつながり、さらに金木犀を通して受講生の方と子どもたちがつながっています。受講生と小富士小3年生の直接の出会いはありませんでしたが、金木犀を通して人と人がつながることができたと思います。教室に帰って、金木犀を手にしたときの子どもたちの笑顔が浮かびます。



【館長のきづき】

全国人権教育研究大会三重大会に参加して（その3）

今回は、大阪市の公立中学校の地域連携担当者の報告から学んだことを紹介します。

地域連携担当は、ネグレクト等の虐待への対応や生活習慣に課題のある家庭への支援、不登校児童への対応、保護者からの子育ての相談や転出入児童の情報共有など、地域や各行政機関と連携を図り、子どもが安全な環境のもと安心して健やかな生活を送れるように支援する仕事をしています。同和対策事業のなかで「子ども会」担当として青少年館に出向していたのを、一般対策事業に引き継いだということです。

報告に対して、フロアから、「学校が支援の必要な子どもの情報をキャッチした時に、どこにつないだら対応してもらえるのか、誰に相談したら関わってもらえるのかよくわからない。ネットワーク会議で話があがった時、具体的にどう動いていくのか」という質問がありました。

それに対して報告者から「地域連携担当一人がこの課題に向き合って解決していくのは不可能。横のつながりの中で連携しているが、僕は嫌がられるくらい区役所に電話をする。声を聞いただけで分かるくらい、自分を覚えてもらい相手が動いてくれるように接している。学校の中だけで対応出来ない部分は、その家庭が生活保護を受けているのであれば、ケースワーカーに連絡を取って『ちょっとこの家庭、家に帰っていない、学校に来ていない、何か情報を持っていますか』と投げかける。子どもに関わることであれば、子育て支援室に電話をする。」

といった内容の答弁がありました。

「僕は嫌がられるくらい区役所に電話する。声を聞いただけで分かるくらい」という部分から報告者の担当者としての姿勢が伝わってきます。

報告者の地域には、子育てネットワーク会議という学校、行政、地域で構成されたすばらしい組織があり、そこで課題のある家庭や子どもたち一人一人に寄り添う手立てや支援のあり方を話し合っています。フロアから、「各県、各学校にもこういった地域連携

担当やネットワーク会議があれば」といった発言もありましたが、大事なことは会議の話し合いの結果を踏まえてどう動くかということだと思います。組織が出来さえすれば課題は解決するでしょうか。組織をつくることはもちろん大切ですが、組織を活かすことはもっと大切です。子どもの育ちを保障するということに組織の一員としてどれだけ関わりきれているかだと思います。組織を機能させるのはまさに人であり、そこには人と人とのつながりが不可欠です。

全人教三重大会から学んだことを、「人と人がつながる」というところに視点を当てて3回に分けて提案させていただきました。「学ぶことによってつながる。つながることによって学ぶ」という好循環がそれぞれの地域、職場に根付くことを願っています。

なお、分散会の内容を詳しく知りたい方は、全国人権教育研究協議会のホームページの第71回全人教大会「分散会のまとめ」第4分科会①分散会をご覧ください。

(館長 村上正哲)

隣保館講座活動報告

スロ-エアロビック教室

～土居スロ-エアロビックチーム「DST48」～

えひめ さい たいかい さんか 愛媛スポーツレクリエーション祭2020 エアロビック大会に参加しました

10月18日（日）、伊予三島運動公園体育館で開催されました。

土居スロ-エアロビックチーム「DST48」は、吉幾三さんの「俺ら東京さ行くだ」の曲に合わせて、チーム演技を発表しました。

日頃の練習の成果を存分に発揮し、気持ちの良い汗をかきながら、チームみんなでスポーツの秋を楽しみました(^o^)/



チーム「DST48」のみなさん